

モットーは、  
 「楽しく活動する」・「花を咲かせる」

## ふたみ花の会



『ふたみ花の会』の皆さんは、地域を花でいっぱいにしてしようと、年間を通じて色とりどりの花を咲かせています。

「平成3年に花の大好きな5人で始めた花の会ですが、最初は試行錯誤の繰り返しでした。地域に合う花を探して植えてみて、風土に合わず失敗したこともありました。」

□□□で徐々に会員が増え、現在では、40人の花愛好者が集まり、今月開催する初春水仙花祭りの準備や運営、また、国道の緑地帯に花を植栽する活動を主に行っています。緑地帯の管理は、昨年の8月に「愛媛県愛



▲昨年の初春水仙花祭りで切り花を販売

「平成3年に花の大好きな5人で始めた花の会ですが、最初は試行錯誤の繰り返しでした。地域に合う花を探して植えてみて、風土に合わず失敗したこともありました。」

「きれいな花を咲かせるためには、咲くまでの管理が大切です。夏場の草引きや、水仙畑の世話、冬の寒い中での作業も大変です。しかし、辛い作業をして、きれいに咲いた花を見たら見ず知らずの通行人やドライバー、散歩する地元の方に、『きれいですね』と声を掛けてもらうと、辛い作業も報われます。」

活動して楽しいことのひとつが、気心の知れた会員と行く視察研修。

これまでに、南楽園や鳥取花回廊・淡路花博・大分県のくじゅう花公園などを訪れました。また、「作業の休憩の時にみんなとおしゃべりするの」が、一番花の勉強になり、楽しいです。珍しい花の苗が手に入るとみんなにおすそ分けしたり、育て方や挿し木・接ぎ木の方法を教え合ったりしています。今では自宅の庭に、年中きれいな花が咲いています。」

1月13日・14日に、ふたみシーサイド公園で開催される水仙祭りについて伺うと、「花はいつ咲くか分からないから不安ですが、来ていただくとお客さんのためにも、きれいな花を準備したいですね。」水仙のほかにも、パンジーやカラーなども販売しようか。水仙弁当・水仙まんじゅう・ぜんざいのほかにも、お好み焼きを作ってみようか。など取材中にもいろいろなおアイデアを出し合っていました。

「結成して15年余が経過し、会員の平均年齢も高くなってきましたが、続けられる限りがんばっていきたい。」

ふたみ花の会は、無理をせず、まずは自分が楽しむこと、そしてきれいな花を咲かせて多くの人に見てもらうことをモットーに、これからも活動します。

※初春水仙花祭りの詳細は、次ページのイベント情報に掲載しています。